

私らしい葬儀の見つけ方 ～現代の葬儀事情と終活のススメ～

2020年12月

株式会社東京葬祭
取締役 尾上 正幸

1. 「終活」の発生とその意味

- ・インターネットと終活、家族葬
- ・終活流行の変化

2. 家族葬を考えるための基礎知識

- ・家族葬と一般葬の違い
- ・お葬式のお金のからくり
- ・お葬式ニューノーマルは？

3. 現代のお墓事情と遺骨供養

- ・現代遺骨供養事情
- ・話し合う終活

4. あんしんを増やすためのワンポイント

- ・希望を残すばかりではなく、大切なのはコミュニケーション再構築
- ・事前相談、事前学習のススメ

1. 「終活」の発生とその意味

家族葬を後押しするように生まれた終活とその後の変化

お葬式情報と終活

- ・インターネットにより情報が入手しやすくなった。
- ・葬儀形態の変化、家族葬の細分化、自分らしいお葬式
- ・事前に考えることが最良という風潮から、タブー視が減

【インターネット普及率の推移】

1997年	9.7%	葬儀ポータルサイト、葬儀社紹介所サイト活性のはじまり
2000年	31.7%	家族葬がひっそりと誕生「家族葬ってなに？」
2005年	70.8%	家族葬が辞書に掲載
2010年	78.2%	インターネット葬儀社の誕生から乱立へ
2016年	83.5%	全国的に家族葬が定着し始めた

～「終活」の背景～
2009年終活誕生
2010年流行語100選
2012年流行語トップ10

終活が代えた家族葬の定義

2005年 辞書に掲載された家族葬

家族や親戚を中心とした。

ごく親しい友人や知人を含めた。小規模なお葬式。

2009年 週刊朝日の対談コラムから誕生した「終活」

人任せにしない自分らしいお葬式を考えること

2012年 実践された終活をつくした自分のお葬式

金子哲雄氏の終活

金子哲雄・・・2012年に41歳という若さで急逝した流通ジャーナリスト。
自らの葬儀を自身でプロデュースしたことで話題に。

金子哲雄氏の終活

残してゆく家族に迷惑をかけないための活動

2016年 終活疲れが話題に

しなければいけない「終活」にあふれて辛い

2015年 前後より、終活再定義

自分の為、自分らしさを考える終活、夢づくり目標づくり

自分らしい、わが家らしい、後悔をしない

全部を含めて、家族葬の選び方を知っておきたい

2. 家族葬を考えるための基礎知識

今までのお葬式と家族葬の違い
事前相談の活用法とこれからのお葬式

事前相談や、事前見積対応が出来る

- 厚生労働省認定葬祭ディレクターの存在
- 明瞭な見積もりが出来るか
- 担当者の対応に納得できるか
- 長く地域で存在をしている

- ・家族で事前に話し合っておくこと
葬儀に出かける機会が減少している
遺族のプレッシャー
いざというときに心の支えになる
- ・その上で、葬儀社の事前相談を利用する

「普通は？」と言われた時代	「家族葬」が当たり前の時代
<p>1. 葬儀社を探す</p> <ul style="list-style-type: none">・葬儀が解らない、なじみが無い・すべてを頼りたい (電話帳・口コミ等)	<p>1. 安置場所を探す</p> <ul style="list-style-type: none">・自宅に代わる安置場所・同時に式場選択になることが多い (葬儀までの日数がある。)
<p>2. 式場を考える</p> <ul style="list-style-type: none">・自宅、寺、集会場等 (明日の葬儀に間に合うために)	<p>2. 式場を選択する</p> <ul style="list-style-type: none">・公営の葬儀式場・葬儀社の運営する式場 (規模や希望)

あらためて知る一般葬と家族葬との違い

一般葬	訃報は走る	沢山の会葬	祭壇は 見せるもの	立派な お葬式だったね
	想定を 超えた人数	故人を知る機会	見栄と体裁 人生の証	
家族葬	訃報は最低限 直接連絡	親しい方だけで	家族が共感する 空間作り	あの人らしい お葬式だね
	限定した方	ゆっくり 過ごす時間	事前に考える 思いを伝える	

葬儀費用の構成

火葬料金

車両経費

接待費

僧侶

会葬御礼

葬儀基本セット+式場

葬儀費用の考え方①

火葬料金

車両経費

接待費

主として葬儀社に支払う予算

式場使用料、祭壇、設営、人件費、消耗品等

葬儀基本セット＋式場

葬儀費用の考え方②

火葬料金

車両経費

接待費

僧侶

会葬御礼

葬儀社が手配をして立替える予算

葬儀基本セット下式場

葬儀費用の考え方③

火葬料金

車両経費

接待費

僧侶

会葬御礼

人数により変動する予算

葬儀基本セット+式場

葬儀費用の考え方④

火葬料金

車両経費

接待費

僧侶

会葬御礼

別途お仕度をする予算

葬儀基本セット＋式場

お葬式が見積もりを超えた不安な時代

火葬料金

車両経費

接待費



僧侶

会葬御礼



葬儀基本セット+式場

家族葬 = 安心価格のからくり

火葬料金

車両経費

接待費

僧侶

会葬御礼

葬儀基本セット+式場

お葬式のカたち いろいろ

従来葬儀	一般葬	家族葬の登場で、名称が変わったともいえる
	社葬	日本独特の葬儀のカたち、お別れ会に変化
	密葬	社葬・お別れ会の前段としての葬儀
現代葬儀	家族葬	会葬を限定した家族を中心にした葬儀
	一日葬	通夜を行わない、葬儀告別式
	火葬式	儀式を伴わない告別式だけの葬儀

家族葬とは・・・

近親者を中心として、親しい知人までを含めた葬儀で、その為、訃報を制限されることが多い。

- **長引く新型コロナウイルス感染症の影響**
- **ITを駆使した生活変化は影響するのか**
- **祭壇はもっと家族の為の時代へ**
- **生前予約、死後事務委託という選択**

葬儀はそれぞれに異なる。**私らしい葬儀**の時代

- ・**どんな葬儀**を考えているのかという漠然とした思い
- ・どなたをお誘いするのかと言う、**人数の把握**
- ・どこの式場、火葬場、車両でという**具体的な選択**

⇒ **正確な見積もり、ここから家族で考える**

3. 現代のお墓事情と遺骨供養

引き継ぐ、引き受ける。祭祀継承という考え方

供養の問題が沢山

- 菩提寺との付き合いがある
- 土地に定着しない世襲
- 故郷のお墓の引っ越し
- 継承者不在（いない・しない）の家族構成

お墓の引っ越し

現在のお墓	新しいお墓
	①新たなお墓を準備(契約)する
②「墓地使用許可証」を受け取る	
	③「受け入れ証明書」を発行してもらう
④「埋葬証明書」「改葬許可申請書」を受け取る	
⑤改葬許可申請をする →「改葬許可証」の発行	
⑥遺骨の引っ越し	
	⑦納骨供養
⑧整地等の費用発生	

※お墓契約とは、永代使用料、建墓費用、年間管理費が発生する。

供養のカタチさまざま

お墓	寺院、霊園管理によるもの、和型、洋型、夫婦墓（個別墓）
合祀墓	一つの墓に、合同で埋骨される、合葬ともいう
樹木葬・海洋散骨	自然に還る供養のカタチ、一定のルールで実現
宇宙葬・手元供養	遺骨の一部を用いた遺族心情によりそう供養のカタチ

自分の希望を一方的に残すものではない

- ・**継承したお墓**への漠然とした思い
- ・子供に対する負担を、**継承する供養**
- ・それでも思いを整えるための**大切な場所**

⇒ **まずは墓参りから、そして家族で考える**

4. あんしんを増やすためのワンポイント

アクティブな終活のススメ

- 言葉はとても曖昧
- 文字に気持ちがなかなか見えない

言葉と文字との力合わせ

話したことを書く、書きたいことを話す

エンディングノートはコミュニケーションツールと考えて活用

- 葬儀社の事前相談は無料
- お墓の情報はあふれんばかり
- 先ずは宗旨やお墓の事。今の供養を共有してから

一歩踏み出してみるのも終活

次に日々のコミュニケーションを再構築

アクティブに出かける、知識を楽しむ、家族を振り返る

ご清聴ありがとうございました。 アンケートのご協力をお願いいたします。

本資料は、講演会用に作成されたもので、保険や投資信託等の募集や勧誘を目的として作成したものではありません。

本資料は考え方の概略をお示しするものであり数値はあくまで概算です。

本資料は2020年12月1日現在の法令・税制等に基づいておおよその概要を説明しておりますが、将来変更される可能性があります。また、法令の詳細や税務申告にあたっては、弁護士やお近くの税務署や税理士などにご相談ください。

本資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、資料に記述した分析は一定の前提に基づくものであり、その正確性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を予測するものではありません。本資料の内容に関するあらゆる損失に対して三菱UFJ信託銀行は責任を負いません。なお、本資料の無断複製、複写、転送等をご遠慮ください。